

日南町議会議長 山本 芳昭様

日南町長 中村 英明

大西 保議員 一般質問答弁要旨

質 問 要 旨	答 弁 要 旨
<p>1. 補聴器購入助成について 令和7年度新規事業で、身体障害者手帳の該当にならない中等度難聴高齢者に対して、補聴器購入費用の一部を助成する事業について</p> <p>①4月から直近までの実績は。 件数、金額は</p> <p>②受診された医療機関の割合は。 日南病院、日野病院、その他</p> <p>③執行に当たっての課題点は。</p> <p>2. 林業アカデミーについて 林業アカデミー卒業生の町内林業会社への就業状況について</p> <p>①令和元年から6年度までの卒業生59名に対し、現在町内継続就業は10名であるが、この状況を学長としてどのように思われるのか。</p> <p>②町内林業事業会社の求人状況は。</p> <p>③町内就業者増に向けての考えは。</p> <p>3. 日南大建(株)について 日南大建(株)の経営状況と今後の対応について</p> <p>①第7期2025年3月末の決算状況と防腐・防蟻加工とDWファイバーの生産状況は。</p> <p>②ウッドカンパニー施設内にあるDWファイバー生産設備の移設計画は。</p>	<p>1.</p> <p>①8月20日現在の実績は6件。いずれも補助上限額の3万円交付で、補助金総額は18万円。</p> <p>②受診機関は、日南病院が3件、米子市内の個人医療機関が3件。</p> <p>③制度の周知不足が課題。更なる周知に努める。</p> <p>2.</p> <p>①これまでほぼ定員に近い人材を輩出してきたことは一定の目的達成である。一方、町内就業者をより増やしていくことが、本町にとって極めて重要である。</p> <p>②現在、2社から合わせて約3人の求人が出されている。</p> <p>③事業者と研修生が直接交流し、相互理解を深める機会を設けるなど、町内就業に繋がる仕組みを強化したい。</p> <p>3.</p> <p>①第7期決算は1,302万6千円の赤字と認識。生産状況は、防腐・謀議加工のLVLが280㎡、単板が96㎡。DWファイバーは720㎡。</p> <p>②具体的な移設計画を伺っていないが、移設への協力意向は確認している。</p>

<p>4. 外国人材育成雇用について</p> <p>(1) 日南病院の介護人材確保に向けたフィリピンからの 4 名の採用計画について</p> <p>①いつ来日するのか。</p> <p>②受け入れ体制は整っているのか。</p> <p>③現在の課題点は。</p> <p>(2) 安来で研修中のミャンマーからの 2 名の状況は。</p>	<p>4.</p> <p>(1)</p> <p>①現時点では本年 11 月と来年 2 月に来日予定である。</p> <p>②実習生を配置する療養病棟を中心に担当者を決めて育成プログラムの整備を進めている。</p> <p>③日本語能力が現場でどの程度通用するのが現時点で検証できていない。また、生活習慣に馴染むまでのサポートも重要と考えている。</p> <p>(2) 安来の留学生は、1 回目の校外実習を終え研究課題を含めた報告会が 7 月に行われた。また夏休みの間、日南病院の病棟にてアルバイトをしながら日南町で過ごし、ふれあい夜市にも参加した。</p>
---	---

日南町議会議長 山本 芳昭様

日南町長 中村 英明

櫃田 洋一議員 一般質問答弁要旨

質 問 要 旨	答 弁 要 旨
<p>1. 今後の日南町、生き残る道について [人材育成]</p> <p>①農業後継者対策が喫緊の課題である。 大きな法人、営農組織は自社で採用が可能であるが、小さな組織は難しい。 日南町産業振興センターの組織強化によりさらに日南町の農業後継者対策を行うべきと考えるが見解を伺う。</p> <p>②トマトに特化した研修プログラムを設け“トマトのにちなん”としてまちを売り出すことが必要と考えるが見解を伺う。</p> <p>③介護・看護人材の雇用、育成が今後特に重要になると考えられるが対策を伺う。</p> <p>[観光・地域経済]</p> <p>④交流人口を増加させるとともに、滞在型観光を推進するため「ヒメボタル」「イチョウ」「聖滝」「生山城登山」等、飲食・宿泊を伴う観光を目指すべきと考えるが見解を伺う。</p> <p>[長寿命化]</p> <p>⑤日南病院の長寿命化も検討し、近隣及び米子市周辺の病院との連携も検討すべきと考えるが見解を伺う。</p>	<p>1.</p> <p>①法人化の促進や地域農業の複合的強化が課題。その上で、地域全体を俯瞰し、農業者と関係機関などを繋ぐ調整役が不可欠。現在、その役割を産業振興センターが果たせるよう検討を進めているところ。</p> <p>②新規就農研修において、にちなんトマト専門コースの新設を検討中。意欲的な人材を呼び込み、にちなんトマトを核としたブランド確立を図っていきたい。</p> <p>③医療、介護においてもまずは人材の確保が重要。日南病院では、リクルート活動を強化し、看護師の4名の内定（次年度新卒採用）や、介護人材として4名が今年度中の雇用が内定している。日南福祉会では、介護職員の宿舍施設整備事業を進めており、来春からの外国人材採用に取り組んでいる。</p> <p>④観光事業に飲食や宿泊を絡めることは地域経済への波及効果が大きく有効なアプローチ。「翌日観光」「夜間イベント参加」など二次消費を生みだすことが可能。宿泊と食事は記憶に残る観光地となる。</p> <p>⑤日南病院の長寿命化について、現在建物及び施設設備の状況を精査し、今後どのように進めるか検討している。近隣及び米子市周辺病院との連携については医師の派遣、転入院の患者紹介や病院機能など情報の共有を日野郡連携としても進めている。</p>

2. 地域防災について

- ① 自営消防団の管理する消防ホースの調査、整備状況を伺う。
- ② 消防ホースは全額町での交換になったが、収納ケースも全額町で整備するべきと考えるが見解を伺う。
- ③ 空き家近辺の消火栓は見直しも必要と考えるが見解を伺う。

2.

- ① 現在消防ホースの現状を調査中。6月30日現在 33 団体中 16 団体からの回答結果、消防ホースの総本数は 899 本であった。町全体の消防ホース総数は約 1,800 本と見込まれる。町による更新は、本年度から順次行う予定。
- ② 消防ホース以外の施設・設備は、自衛消防運営費補助金や自衛消防施設等整備事業補助金を活用いただくなど、現状どおりの運用を考えている。
- ③ 消火栓の見直しは必要と考えている。西部消防局や公設消防の意見も聞きながら具体策を検討したい。

日南町議会議長 山本 芳昭様

日南町長 中村 英明

岩崎 昭男議員 一般質問答弁要旨

質 問 要 旨	答 弁 要 旨
<p>1. 公共施設等資産活用サウンディング調査について</p> <p>①昨年度実施したサウンディング調査で参画の表明のあった「木質バイオマス発電事業」について、その後の協議・検討の進捗状況と課題について伺う。</p> <p>②本年度の新たな調査対象物件の募集状況と今後の見通しを伺う。</p> <p>③資産利活用サポート業務委託契約について具体的にどのような支援があったのか。また、委託費に見合う効果があったのか伺う。</p> <p>④これまで遊休資産の活用実績が見られない要因について、事業の組み立て方や進め方に課題がなかったかどうか、町長の見解と今後の改善方針を伺う。</p>	<p>1.</p> <p>①現在、地元の方へ企業が個別説明を行っているところ。合意が得られ次第、事業の詳細協議を進めていく。</p> <p>②昨年度応募のなかった物件と新たに5件程度の施設を対象とし、10月頃から募集を開始する予定。</p> <p>③業務内容は、サウンディングツアーの企画、実施支援、情報発信と町が今後企業の支援なく単独で民間提案制度が実施できることを目的とした設計支援など。委託により幅広い情報発信の展開や町の資産活用に町内外から関心が寄せられるなど、委託費に見合う効果はあった。</p> <p>④主な要因は、施設の老朽化に伴う修繕費用の負担が大きいことや町の中心部から遠いなど、企業ニーズとのミスマッチによる。今後、マニュアル化等により、活用しやすい仕組みを整備していく。</p>
<p>2. 鳥獣被害対策について</p> <p>①昨年6月定例会で鳥獣被害状況の把握について質問した際、「被害状況の把握が十分でないため、専用窓口の開設を検討している」との答弁であった。その後、窓口の設置や運用の状況について伺う。</p> <p>②日野郡鳥獣対策協議会の鳥獣対策実施隊員の充足状況、人員不足がある場合の業務への影響について伺う。</p> <p>③本年度の猟友会への新規加入者数と、担い手確保に向けた取組について伺う。</p>	<p>2.</p> <p>①「イノシシ110番」とした相談専用窓口を町ホームページに開設した。電話や庁舎窓口での連絡を含め、本年度は7件の相談を受けている。今後、開設した専用ページも活用し、より迅速な相談体制と早期対応に努めていく。</p> <p>②罾や檻の設置、見回りなどは対応できているが、生息状況の調査や新たな知見習得や機材の試験運用などは対応が難しい現状。</p> <p>③現時点で新規加入者はない。農業研修や林業アカデミーに狩猟関連を必修科目として位</p>

3. IT活用による行政業務効率化の推進について

- ①道路損傷や不法投棄などの通報が町民から直接寄せられるが、従来の電話や紙によるやり取りでは迅速な対応につながらない。スマホやPCから位置情報・写真を送信できる通報システムの導入について町長の見解を伺う。
- ②多面的機能支払・中山間地域等直接支払の申請手続に必要な協定農地図面については、未だに紙ベースで煩雑な作業が続いている。町が管理するシステムを集落協定とオンライン共有すれば、事務の効率化と精度向上が可能ならずである。導入の可能について伺う。

置づけ関心喚起を図っている。免許試験や補助制度などの情報提供など更なる普及啓発に努めていく。

- ①電話や窓口で被害状況を口頭で伝えてもらうことが一般的であるが、現場の位置特定や把握に時間を要する。現場確認に職員が現地に赴くことは職員の大きな負担でもある。通報システムのデジタル化は「にちなんつながるアプリ」(モバイル対応版)に実装することを検討している。
- ②本町の管理システムは、セキュリティや運用面から外部ネットワークや他システムとは接続せず単独で運用する構成となっている。協定データの抽出・共有は、メールでのデータ送受信を行っており、集落からの図面提出も不要とするなど、できる限りの省力化を図っている。引き続き、効率化に向け全国の先進事例を研究してみたい。

日南町議会議長 山本 芳昭様

日南町長 中村 英明

高橋 洋志議員 一般質問答弁要旨

質 問 要 旨	答 弁 要 旨
<p>1. 公共交通全般について</p> <p>①スクールバスの運行計画について、具体的な検討及び進捗状況について伺う。</p> <p>②デマンドバスにおける園児輸送について、安全対策がどのようにとられているか伺う。</p> <p>③中国横断新幹線（伯備新幹線）整備推進会議に対する本町の取り組み状況について伺う。</p>	<p>1.</p> <p>①運行ルート、便数、車両仕様、安全基準とともに系統再編の在り方を整理している。本年度中に公共交通確保対策協議会で検討し、住民周知及び意見募集を行った後、運行を開始する。</p> <p>②具体的には、乗車時は保護者が、降車時はこども園職員が必ず付き添い、乗降の補助を行っている。園児が安全に乗車できるよう、チャイルドシート等を保護者が用意し着座での乗車を原則としている。緊急時は、運行事業者から地域づくり推進課、こども園、保護者へ連絡し、必要に応じて消防・警察等へ直ちに通報することとしている。</p> <p>③中国横断新幹線（伯備新幹線）整備推進会議の会員として会議へ出席し、国や関係機関への要望、広報活動に取り組んでいる。独自の取組は令和7年5月から1月間にケーブルテレビで活動を周知し、理解を求めた。</p>
<p>2. 地籍調査全般について</p> <p>①毎年度の調査の発注からの作業工程について伺う。</p> <p>②発注時期を調査しやすい時期に見直すことも必要と考えるが如何か。</p> <p>③地元企業の受注率を伺う。</p>	<p>2.</p> <p>①5月に入札を行い、6月から11月にかけて現地調査、2月に完成検査を行っている。</p> <p>②補助金の交付決定時期や、農繁期を避けての調査となることから、7月から8月、10月から11月に調査を実施しているのが現状である。</p> <p>③令和7年度実績は、調査業務は100%、測量業務は0%であった。</p>

日南町議会議員 山本 芳昭様

日南町長 中村 英明

荒金 敏江議員 一般質問答弁要旨

質 問 要 旨	答 弁 要 旨
<p>1. 農業者支援について</p> <p>①地域計画では、70歳以上の農業者の農地面積は、町内合計259.56ha、うち後継者不在の農業者の農地面積は、町内合計187.86haとなっている。少しでも長く農業を続け、また新規就農者を求めるためには、農家の所得補償、価格保障を国に強く求めていくべきだと考えるが、町長の見解を問う。</p> <p>②生産意欲を持ち続けられるように、町独自の支援策が必要だと考えるが町長の見解を問う。</p> <p>2. 畜産農家支援について</p> <p>①飼料代高騰が続く中、来年度に向けて粗飼料確保対策を検討することになっているが、検討状況を問う。</p> <p>②頭数を増やす場合は1頭あたり40万円の補助を受けられるが、高齢牛を優良雌牛に更新する場合の補助（日南町雌牛導入奨励事業）が今年度は休止になった。更新する場合の補助を復活させるべきと考えるがどうか。</p> <p>3. こども園の土曜日開園時間延長について</p> <p>①土曜日の開園時間は本園、分園ともに8時から12時となっている。職員を確保したうえで、平日と同様の開園時間にすべきと考えるがどうか。</p>	<p>1.</p> <p>①中長期的な食糧安全保障を含め、農業が「業」になる仕組の構築を求める。</p> <p>②現在、意欲ある農業者支援事業を行っている。国や県の事業活用を基本としつつ、町としての独自支援策は必要に応じて検討していく。</p> <p>2.</p> <p>①支援の可能性について情報収集の段階。改めて和牛農家との意見交換を行い、方針を決めたい。</p> <p>②和牛農家との意見交換会の集約として、繁殖素牛導入事業を見直したところ。</p> <p>3.</p> <p>①現在、土曜日午後の保育は、事業所内保育所「おひさま」を利用されている。したがって、午前中はこども園、午後は「おひさま」が保護者支援をしている状況。今後の状況によっては、保護者ニーズに沿った保育時間を検討していく。</p>

日南町議会議長 山本 芳昭様

日南町長 中村 英明

岡本 健三議員 一般質問答弁要旨

質 問 要 旨	答 弁 要 旨
<p>1. 中小企業の賃上げへの直接支援について</p> <p>①鳥取地方最低賃金審議会は最低賃金の73円(7.6%)引き上げを答申した。労働者にとっては不十分な額だが、一方で町内の中小事業者にとって7.6%の引き上げは厳しく、何らかの支援が必要ではないか。</p> <p>②町単独で、あるいは県と連携して中小企業の賃上げへの直接支援を実施してはどうか。</p>	<p>1.</p> <p>①支援は必要だと考えるが、直接的な支援でなく商工会が行う資金調達や経営改善のアドバイスやチャレンジ起業支援による技術導入サポートなどの実務的な支援を行うことにより、持続可能な成長と安定的な賃上げが実現されると考える。</p> <p>②国も県も賃上げだけの支援を行っておらず、町も同様の支援を行う予定はない。</p>
<p>2. 生活保護「いのちのとりで裁判」の最高裁判決への対応について</p> <p>①6月27日の最高裁判決で2013年～2015年に行われた生活扶助基準の引き下げ処分の取り消しが命じられた。町内でこれまでに違法な引き下げ処分の影響を直接受けた住民の数と、扶助費削減の総額(概算)を問う。</p> <p>②厚労省は判決への対応方針をいまだ示していないが、引き下げ処分が間違っていたことは判決から明らかである。町として、影響を受けた住民への補償を検討してはどうか。</p>	<p>2.</p> <p>①基準改定は一律ではなく、影響を受けた住民数や削減額の正確な把握は困難である。</p> <p>②国の制度として保護を運用していることから、町単独での補償措置は考えていない。国の方針や専門家による審議の動向に注視していく。</p>
<p>3. 生活保護の受給開始要件について</p> <p>①生活保護の受給を始めるためには受給対象者が預貯金を処分しなければならない。一方で、生活保護受給開始後は目的をもった預貯金が可能である。受給開始後に預貯金ができるのであれば、受給時に預貯金があっても問題ないのではないか。</p>	<p>3.</p> <p>①預貯金を含めた資産は、原則として最低生活の維持に活用することが求められる。生活保護受給中の預貯金についても、保護の趣旨目的に照らし合わせ、取扱を決定する。</p>
<p>4. 多文化共生社会の実現について</p> <p>①7月の参議院選では排外主義を標榜する政党などが議席を増やし、社会の分断への不安が広がっている。改めて、日南町における外国</p>	<p>4.</p> <p>①外国人の受入れ、多文化共生は本来国が主体的に進めるべき課題。本町では第6次総合計画に基づき、外国の言語や文化に触れる機会</p>

人の位置づけと多文化共生社会の実現についての考え方を問う。

②全国知事会は7月23日に「外国人の受け入れと多文化共生社会実現に向けた提言」をとりまとめた。全国町村会などでも、多文化共生社会の実現へ向けた制度の整備や施策の充実などの提言・要請を行うよう働きかけてはどうか。

を提供し、理解を深める取組を進めている。少子高齢化に伴う人手不足の中、特定技能制度等で活躍する外国人材は産業や暮らしを支える重要な存在。日本人・外国人を問わず互いを尊重し合える社会を目指していく。

②首長が集う場などを通じて情報を共有し、意見交換を重ねていく。